

## Q-4 南三陸町戸倉波伝谷地区 2012年2月28日(火)

---

報告者名	政岡 伸洋	被調査者生年	生年未確認(男)
調査者名	政岡 伸洋	被調査者属性	戸倉神社神職(禰宜)
補助調査者	遠藤 健悟 大沼 知		

---

話者は、戸倉神社の禰宜を勤めており、神社の修理に際して、県の文化財課と事前に相談しておいた方がいいのではないかと判断のもと、話し合いを持つことになり、そこに同席させていただいた。ここでは、その中の波伝谷の現状に関わる部分のみ紹介する。

### 神社の被害

鳥居2つと神楽殿の扉と柱が津波によって流出し、本殿も地震によって相当傷んでいる。現在、地元の大工さんに見積もりを取ってもらっているところである。とりあえずは、お祭りができるように、ご本殿を修理したい。

春祈祷の獅子舞の幕について、町から補助が出るということだったが、文化庁に直接言ってほしい。幕の見積もりについては、明日か明後日中に出る。衣装については、すでに見積もりは取っている。町の復興事業に関わるコンサルタント会社であるランドブレインさんには伝えてある。

法印神楽について、面は以前火災にあった時舞手の人が自分で彫ったものが、今回の津波で流された。これもランドブレインさんが調べにきた。面は全然違うが、千早とザイは女川のもと同じなので借りて対応することはできる。

今、お金の問題が一番大きい。

### 高台移転

高台移転の協議会はまだできていない。30名くらいが参加し、15~6名がどうするかまだはっきりしていない。